

平成21年度第2回富士見市行政経営戦略会議 会議録

日時：平成22年2月25日(木)
午後1時30分～3時55分
場所：市長公室

出欠状況

境代表	稲葉委員	尾島委員	中野委員	平井委員	福嶋委員	
○	欠	○	○	○	○	
委員以外の出席者		市長、副市長				
事務局（政策財務課）		総合政策部長、政策財務課長、政策財務課主査、同主査				

内 容
<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 会議の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議以降の経過について事務局より説明 ・会議の公開について、富士見市情報公開条例を基に説明 <p>質疑</p> <p>委 員：会議録ではなく、会議自体を公開するということか。</p> <p>事務局：会議自体の公開である。</p> <p>代 表：公開することでよいか。</p> <p>全委員：異議なし。</p> <p>委 員：当会議で決めるまでもなく、情報公開条例上、当然公開すべきものである。条例に規定している「議事運営が著しく阻害されると認められる場合」ということ自体想定できないため、市長マニフェストに基づき、徹底した情報公開を進めるなら、情報公開条例の改正こそが課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の進め方について、資料に基づき、事務局より説明 <p>質疑</p> <p>委 員：マニフェストは、行政の公式文書なのか。また、戦略会議は、市長の私的諮問機関なのか、行政の会議なのか。</p> <p>市長は、マニフェストを基に市政運営の方針のようなものを打ち出しているだろうから、マニフェスト自体を評価するのはどうかと思う。</p> <p>事務局：マニフェストについては、特に実行計画等を作成していない。</p> <p>委 員：マニフェストは、市の計画なのか。</p> <p>事務局：そうではないので、マニフェストの実行計画を作成し、市の計画としていけばよいと考えている。</p> <p>委 員：マニフェストは、政治家星野信吾が市民と約束したものであるため、実施する場合には、総合計画に落とし込んでいくべきである。その際に、落とし込めるかど</p>

うか議論するのであれば、当会議の役割は明確である。

戦略会議の協議内容のうち、「マニフェストの行動計画」については、総合計画と別にあること自体がおかしい。また、「マニフェストを推進する組織」についても、総合計画の推進組織とは別に存在するということはない。さらに、「市民参加によるマニフェストの検証」は、税金を投入して行うのではなく、一個人として行うべきである。

委員：各分野の専門家がそれぞれの観点から提案をしている国土交通省の成長戦略会議のように、本市の戦略会議においても、あまりマニフェストに捉われなくていいのではないか。

委員：戦略会議では、マニフェストを深く掘り下げ、富士見市を元気にするための戦略を検討していくものと考えていた。

委員：戦略会議は、マニフェストと総合計画の橋渡しをするということではないか。その際には、マニフェスト以外のことも取り上げてよい。

委員：マニフェストの内容については、基本的にすべて総合計画に位置付けるべきであり、そのとおりに実施するのが難しいというものについて議論すべきである。

代表：前回会議では、総合計画策定に係る検討組織がいくつかあり、その関係が見えないという話があったが、総合計画策定体制の資料がないため、マニフェストの現状や進捗状況を確認した上で、改めて会議の進め方を協議したい。

(2) マニフェストの概要について

- ・資料に基づき、事務局より説明

質疑

委員：マニフェストにおける個別具体的な項目について何をやったかというアウトプットの話の前に、どのようなまちにしたいのかという話があるべきであり、それを達成したかどうかというアウトカムの方が重要である。マニフェストが目指すものを実現するためには、個別具体的な項目については、どんどん変えていってもよい。

市長の退職金をゼロにするとのことだが、副市長はどうか。

市長：副市長と教育長については、給与の20%、15%をそれぞれ削減しているが、退職金の削減は、給与の削減とは性格が違うものと考えている。

委員：市長の退職金をゼロにすることは、寄付行為になるのではないか。形式的には問題ないが、公職選挙法の趣旨に反すると考えられる。

委員：マニフェストに示された個別具体的な95項目だけでは、市政全体の議論にはならないのではないか。

委員：マニフェストに示された「市民参画のモデル自治体を目指す」ためには、「市民主義の確立」に関する取組みが関連すると思うが、内容的に厚くしてもよいと思う。どうすれば市民が参画するかという点が重要である。

代表：前回会議において、戦略会議の役割が総合計画策定に係る他の会議と重複するという話が出たが、今後の議論の入口としては、資料「富士見市第3期行政経営戦略会議について」の「2具体的な協議内容」のとおり、(5)で再度マニフェストの議論に戻る点を除けば、(1)～(4)のとおりでよいのではないか。

- 委員：マニフェストの扱いは慎重にすべきであり、大きな方向性に関する議論が必要である。
- 委員：魅力あるまちづくりをするにはどうすればよいかということを議論すればよい。
- 代表：事務局から課題を提示していただき、どうすればよいかということを議論してはどうか。
- 事務局：マニフェストにおける個別具体的な取組みについて議論するのではなく、どのようなまちにしたいのかというマニフェストの主旨に基づき、課題を抽出したい。
- 委員：戦略会議において総合計画の議論をすることについては、審議会との二重構造になるとのことであったが、総合計画の策定は積み上げ方式による議論のため、別の視点から議論や提案をしていけばよいのではないか。
- 委員：積み上げではない視点が、まさにマニフェストではないか。マニフェストでは、「改革の技術あり」と「子どもにツケをまわさない」がポイントである。「子どもにツケをまわさない」については、借金を減らす一方、貯金も適正に行っていくということだと思うが、その見通しはどうか。市長自らが率先して行革を行うということだが、市長給与を削減した後、次に何に手をつけていくのか。また、市民参画では何をモットーとするのか。
- 市長：子どもにツケをまわさないことについては、市長就任時よりも借金を増やさないということである。貯金である財政調整基金については、取り崩して対応しているのが現状である。
- 委員：戦略会議では、そういった議論をしないのか。
- 市長：こうした方がよいというご意見があればいただきたい。
- 代表：本日は、マニフェストの主旨の確認については終えたと思うが、マニフェストにおいて修正が必要な事項については、次回会議で提示されるのか。
- 事務局：マニフェストの対応状況のうち、検討中や未実施のものについて、そのとおりにできないものは、その主旨を生かし、内容を修正して取り組んでいくというような議論ができればよいと考えている。
- 代表：市民会議から総合計画の検討の成果が出されるのであれば、それを戦略会議で議論してはどうか。
- つまり、流れとしては、マニフェストの確認→マニフェストの課題確認→マニフェストの主旨を生かして修正→市民会議の意見を踏まえ、優先的・重点的に実施すべき課題の検討、となる。
- 委員：マニフェストは、総合計画の基本になるべきものである。マニフェストを全て総合計画に落とし込むところから、総合計画の議論が始まるのではないか。
- 委員：マニフェストをすべて総合計画に落とし込むのは困難ではないか。
- マニフェストの達成状況に捉われず、それ以外のことも取り上げてはどうか。
- 委員：マニフェストについては、個別具体的な95項目よりも、その基となる柱が大切である。
- 委員：マニフェストに出ていないことを補足してもよい。
- 代表：総合計画策定に係る庁内会議や市民会議で出されたものに対して、求められれば当会議から解決策を提案すればよいのではないか。
- 委員：市民会議についてはあまり考慮せず、外部の第三者の目からの戦略を提言すれば

よいのではないか。

委員：総合計画に反映されなければ意味がない。

委員：総合計画の検討組織に対して、意見を投げかけていけばよい。

代表：市民会議の意見に対して、当会議から提案し、審議会に諮るといようなキャッチボールになってもよいのではないか。

委員：前回会議では、そういう方法こそが屋上屋を架すものではないかという議論だった。

委員：検討内容が多少重複するのはやむをえないのではないか。

代表：総合計画策定における審議会と戦略会議の役割の違いは何か。市民会議で出されたものに対して戦略会議で検討するという事ではないのか。

委員：総合計画に関しては、市民会議と審議会でも検討すればよい。

委員：市民だけではこれ以上議論できないというものを戦略会議で議論すればよいのではないか。富士見市を元気にするための戦略を議論するのがよい。

事務局：マニフェストの根幹に関わることや、市民会議で取り扱うのは難しいことの中から、テーマを絞って戦略会議で議論するという事かどうか。

委員：基本はマニフェストに関する事か。

委員：マニフェストについては、総合計画の議論の中で検討すべきものである。

代表：戦略会議の協議内容として示されている「マニフェスト実施計画の確認」については、必要性を再検討してほしい。今後は、焦点を絞って、マニフェストの課題確認から主旨を生かした修正まで行うということによいか。

事務局：さらに、優先的・重点的に実施すべき政策課題の議論までお願いできればと考えている。

マニフェストの中から、戦略会議で議論していただきたいことを事務局において抽出したい。

委員：マニフェストを総合計画に落とし込む上で課題となっていることを示すということか。

市長：そのとおり。

委員：マニフェスト以外にも行政経営戦略上の課題を議論すればよい。

委員：総合計画の議論で出ていないことを議論してもよい。

委員：そうであるならば、戦略会議委員が市民会議に出向いて議論すればよいのではないか。戦略会議では、マニフェストを総合計画に落とし込む上で課題となることや、市民会議から投げ返された課題について議論すればよい。

代表：戦略会議の委員が審議会に参加するということがあるということか。

委員：市民会議に参加するということもありうる。

委員：戦略会議はアドバイザーのようなものか。

委員：マニフェストを市民会議にそのまま示すには無理があるというものや、市民会議にマニフェストを示したが、それはできない返されたものについて議論すればよい。

委員：マニフェストに載っていないものを取り上げてよい。

代表：事務局からマニフェストにおける具体的な課題を示して欲しい。

(3) その他

- ・次回会議は、調整の結果、3月26日（金）13時30分からとなった。

4 閉会